

特集 もく・もく・ぬくもり

山形県には山がいっぱいあります。森がいっぱいあります。
山形県の面積の7割が森。見渡せば必ず森が目に入ります。

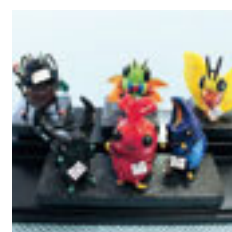
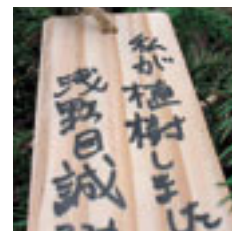
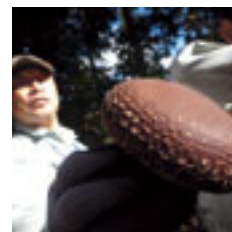
森があるってことは木（木材）もいっぱいあるってこと。
木は家の柱やテーブル、木の器などに姿をかえて、
私たちに“ぬくもり”や“癒し”を与えてくれます。
最近は木質バイオマスエネルギーとして“暖かさ”も届けてくれます。

でも使われているのは、ほんの一部。

暮らしの中でもっと木を使えば、もっと“ぬくもり”があふれるはず。
地元の木を使えば地元の森も元気になります。

今回の特集は米沢市で行われたフォトフレームづくり。
地元の木を使って子どもたちが一生懸命つくりました。
題して「もく・もく・ぬくもり」

子どもたちのオドロキの発想力にも注目です。



“もりしあ”
です。

CONTENTS

- 3 特集 もく・もく・ぬくもり
～森の材料でフォトフレームづくり～
- 6 インタビュー「もりしあ人」
- 7 “やまがたの森を未来に”フォトコンテスト作品募集
第38回全国育樹祭インフォメーション
- 8 企業だって森づくり♪
- 10 みんなでTRY [村山・庄内]
出かけてみよう「金山大堰」(金山町)
- 11 プレゼントクイズ
- 12 やまがた緑環境税の使いみち

皆さんは、“森がある幸せ”を感じていますか？

山形には、豊かで美しい森があります。
この豊かな森やそこに関わる人々、
木がある暮らしetc.をお届けします。

山形の森を、“森がある幸せ”を、
身近に感じていただけたら幸いです。

もりしあ編集部